



# 小学4年生～6年生、中学1年生～3年生の 算数・数学ベーシックドリルが新しくなります

AI機能が追加されたことで、一人ひとりの習熟度に合わせてフォロー問題が出題されるようになります。ここではこれまでのベーシックドリルとの変更点をお伝えします。

## 変更点1：目標設定や振り返りのアンケートが加わります

新しくなったドリルに初めて取り組むときや単元の学習が終わった後、アンケートに回答します。このアンケートの結果が結果確認画面や単元・問題選択画面の目標に反映されます。なお、単元後アンケートの結果はフォロー問題の出題にも影響します。



## 変更点2：単元・問題選択画面が変わります

ドリルパークトップ画面から算数・数学ベーシックドリルを選択すると、これまでのページ（左下）から新しいページ（右下）に変わります。新しいページには自分が設定した目標などが表示されます。

これまでの単元・問題選択画面



新しい単元・問題選択画面



## ！ 表示されていないこれまでのドリルを学習したい場合

画面右下の「表示されていない単元を学習」ボタンを押すと、これまでのドリルの問題にも取り組みます。  
 ※新しい単元・問題選択画面から取り組むことができる単元は、今後順番に増えていきます。



表示されていない単元を学習

新しい単元・問題選択画面

## 変更点3：手書きでの回答入力がかかります

問題形式により選択肢による回答入力と自由記述の回答入力があります。  
 選択肢による回答入力は小学4年生～中学3年生のすべての学年で共通です。  
 自由記述の回答入力は小学4～6年生の問題では手書きとキーボードによる入力、中学1～3年生の問題では手書きによる入力のみができます。



手書きでかい答

手書きでの回答入力タブ



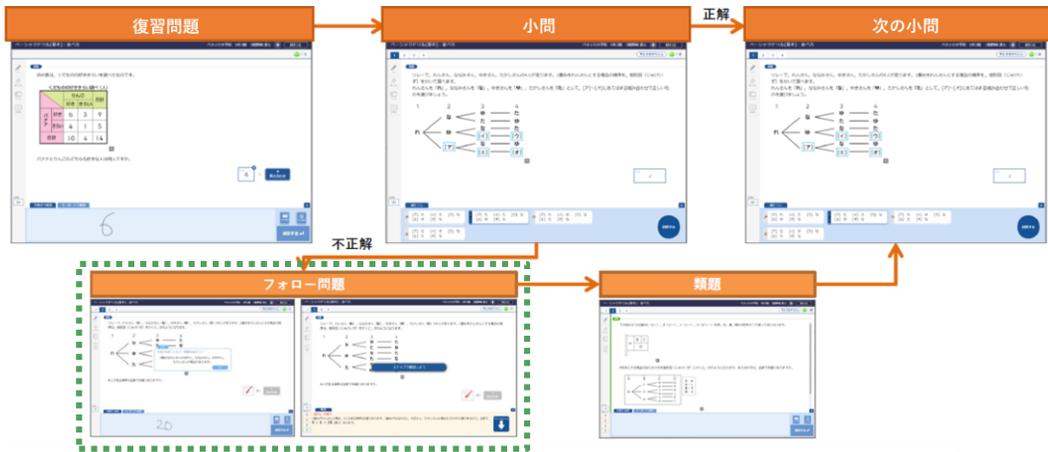
キーボードでかい答

※小学4～6年生のみ

キーボードでの回答入力タブ

## 変更点4：問題を解く流れが変わります

各単元は、復習問題→小問出題→間違えた場合のフォロー（HINT・確認問題・類題）→次の小問の順に進みます。復習問題の回答とこれまでの学習状況をAIが分析し、小問で間違えた後のフォローが一人ひとりに合った形式となります。



**HINT**

**確認問題**

**フォロー問題**

**Point**

小問を間違えるとこれまでの学習状況をAIが分析し、HINTが表示されたり、前に習った内容の復習問題がスモールステップで出題されたり、自分に合ったフォローがされます。

**Q.ドリルをと中でやめることはできますか？**  
 A.問題表示画面右上の「終わる」をタップすると表示される「と中でやめる」を選択すると中断できます。なお、その時点で回答しているところまで記録されるため、次回は続きから取り組むことができます。ただし、単元のまとめテストは中断すると最初から解き直すことになります。

## 変更点5：取り組み状況を確認するページが加わります

「取り組み状況を確認」を押すと出てくる画面では、問題ごとの正答率がグラフで表示され、自分の取り組み状況がひと目で分かります。また一問ごとの解き直しも可能になります。

※新しい算数・数学ベーシックドリルの結果のみがこちらのページに反映されます。



### Point1

グラフで問題ごとの正答率がひと目で分かる

### Point2

間違えた問題がひと目で分かり、一問ごとでの解き直しが可能

### さらに

問題を解き終わった後に出てくる結果の画面も変わります。正答率や回答時間の他、目標に応じて個別にアドバイスも表示されます。



Q.これまでためていたポイントは新しいドリルに合計されますか？

A.はい、合計されます。

### <先生方へ>

詳しい先生用の機能については、先生用ポータル画面の右上をタップすると出現する「ヘルプ」の「ドリルパークの使い方」、またはミライシードファンサイトの「アプリの操作」をご参照ください。



ファンサイトは  
こちらから